

■研修 (国語)科 ヒット授業開発!
学び合いを生かす授業案を検討しよう

“学び合い”を生かすヒット授業案づくり

(国語)科のヒット授業案

教科名 国語

単元・題材名 「握手」 井上 ひさし

授業のねらい・目標

・「わたし(筆者)」と「ルロイ修道士」の手や指の動きに込められた意味を捉える。

(大まかな流れ)

<導入>

- ・前時にまとめた「わたし(筆者)」と「ルロイ修道士」にまつわるエピソードを振り返り、さまざまな場面で手や指の動きが登場していることに気づかせる。
- ・本時のめあてを提示し、登場人物の手や指の動きに着目して考えることを確認する。

<課題1(基礎の課題)>

- ・教科書を読み返し、手や指に関する描写を見つけて線を引く。
- 班で、線を引いた箇所が「誰」の手や指に関する描写なのかを確認する。
- ☆指言葉でのやり取りが登場人物の間でのみ通じるものであることから、指言葉に関する描写を通じて、登場人物同士の信頼関係やつながりが見えてくることに気づかせる。

<課題2(ジャンプの課題)>

- ・「握手」が出てきた三つの場面を確認し、それぞれの握手に込められた思いを考える。
- 握手をした人物(1・2回目:ルロイ修道士、3回目:「わたし」)を確認し、それぞれの人物がどんな思いで握手をしたのかを班で考え、交流する。

<まとめ>

- ・題名が「握手」であるように、手や指の動きを通じて登場人物の思いや登場人物同士のつながりが描かれていることを振り返る。

この授業の見どころ(学び合いをどう生かすかなど)

- ・基礎の課題では、班で文章を読み返して線を引く活動を通じて、全員が文章をじっくり読み味わえる。
- ・ジャンプの課題では、言葉で直接的に描かれた心情ではなく手や指の動きからそれぞれに込められた思いを考えさせることで、班の仲間とともに考えを深められる。

授業を担当する人

石田 絵美